

地 域 再 生 計 画

1 地域再生計画の名称

地域資源の付加価値を高める徳島東部地域活性化計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

徳島県、徳島県勝浦郡勝浦町及び徳島県勝浦郡上勝町

3 地域再生計画の区域

徳島県勝浦郡勝浦町及び徳島県勝浦郡上勝町の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地域の現況

当地域は、徳島県の南東部に位置し、四方を山々に囲まれた中山間地域である。

人口は、1980年(昭和50年)に3,435人であったのが、2020年(令和2年)

に1,491人になるなど、急速に減少が進んでいる。特に老年人口(65歳以上)は、全体の53%を占めており、全国平均の28%(H30)、徳島県(R1)の33%と比較しても突出して高く、限界集落が増加している。

当地域は、地域資源を活用した葉っぱビジネス(いろどり)やかつうら貯蔵みかんのブランド化推進のため、個々の付加価値を高め環境整備等の充実を図り、産業振興を進めている。

また、林業では、平成30年度に(一社)かみかつ森林環境公社を設立し、主伐、間伐、再造林、広葉樹林化等の方策を森林所有者と共に考え、実行する仕組みづくりを構築している。また、副産物を利用した付加価値商品の研究・開発を進めると共に森林資源を活用する担い手の育成及び指導にも力を入れているなど、令和2年度に策定した地域創生総合戦略においても最も力を入れている分野の一つに位置付けられており、町としても特に重視している産業となっている。

4-2 地域の課題

当地域では、農地、山林へのアクセス道の整備や町道改良が遅れていることから、農林業の付加価値や生産性が向上していない。そのため、経済、人、地域資源の循環ができておらず、農業の後継者不足や林業の従事者不足などといった課題が生じている。その結果、農林業全般で高齢化の状況になっている。

農業では、生産性の向上を図る必要があり、集出荷場及び道の駅への流通対策の強化や6次産業化による農産物の付加価値を高めるため、道路整備の機能向上が大きな課題となっている。

林業においても、伐期を迎えた山林の保全体制も不足し、森林整備、間伐材の搬出を効率的に進めるため、トラックや林業機械が容易にアプローチできるよう、町道、林道農道を一体的な整備による施設間連携を図り、地域産業の競争力強化に資する道路ネットワークの構築、安全な輸送及び林業の生産性の向上を図る上で、路網整備が急務となっている。

4-3 計画の目標

こうした状況を踏まえ、地方創生道整備交付金により町道・林道・農道を一体的に整備することにより、農業生産や農産物流通の合理化、農村地域の生活環境の改善を図るとともに、町道や農道を活用した地域産業の競争力強化に資する木材搬出ネットワークを構築し、木材搬出の効率化や安定供給体制を確立することにより、切捨間伐から利用（搬出）間伐へ転換を図ることができ、林業従事者の育成の場としても効果を発揮することができる。

そして、①さらなる地域活性化の原動力となる間伐材の有効利用を図る目的として、関連事業の森林環境保全整備事業で造林、下草刈り、間伐材等の森林の保育事業を実施する。②地域資源の循環利用を目的として関連事業のチップボイラー活用支援事業で地域の間伐材をチップ加工し、温泉施設のボイラー燃料として活用する。③さらに、地域の森林資源や資源循環を学ぶ目的として関連事業のバイオマススクール支援事業で森林組合の指導による木材の伐採や薪割り等を地元中学生を対象とした校外授業の一環で、自ら切り出した木材を中学校の各教室に設置されている蔦ストーブに活用するなど、体験を通じて森林整備の必要性や資源が循環することの大切さを楽しみながら学べるよう毎年実施している。

それらの結果、県で策定されているスマート林業プロジェクト等と連携し、集落と一体的に一貫型施業を推進していくことで、素材生産量を増大させ国産材の流通促進を図っていき、林業従事者の人材育成の好循環を目指していく。

（目標１）年間素材（木材）生産量の増加

13,000m³（令和２年度） → 14,000m³（令和７年度）

（目標２）林業就業者数の増加

24人（令和２年度） → 29人（令和７年度）

（目標３）農産物（柑橘類）出荷量の増加

140t（令和２年度） → 150t（令和７年度）

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

当地域は、唯一の幹線道路である県道徳島上那賀線は地域を横断しているため、都市圏からのアクセスは比較的容易である。しかし、地域の約９割を山林が占めているため、林道及び広域農道、町道の一体的整備が遅れており、地域路網が脆弱である。

このため、地域住民の利便性の問題に加えて、６年前の豪雨、そして平成３０年８月の（豪雨、台風）のように６年間の内に２回も災害時の集落孤立への危惧不安もあり、近年の森林保水力が低下したことにより洪水氾濫、山腹崩壊、流木被害など甚大な被害が発生しており、定住人口は減少し続けている。

さらには、林道・広域農道、町道は整備が遅れている上に、既存道と幹線道路とのネットワークが脆弱であり、間伐材の利用等林業振興及び集出荷場や道の駅への流通にあたっては、効率が悪い。

そこで、地方創生道整備推進交付金により、県道徳島上那賀線を中心として、そこから伸びる「町道ほうじくみ傍示生実線」、「町道おおひらちゅうおう大平中央線」、「町道かみかしはら上檜原線」、「町道いちう市宇線」、

「町道^{しんみょうこずまた}神明葛又線」、 「町道^{おなかつら}雄中面線」の改良工事を行うことで、この町道と接続する
「林道^{おおかわらあさひまる}大川原旭丸線」、 「林道^{いくみやえち}生実八重地線」、 「林道^{しんみょうすぎち}神明杉地線」「林道^{やえち}八重地
市宇線^{いちう}」、 「林道^{いちうかしほら}市宇樫原線」や県道徳島上那賀線から町道傍生実線に接続する「広
域農道^{とくしまとうぶちく}徳島東部地区」、 県道徳島上那賀線から町道生名中央線に接続する「広域農道^{かつうら}勝浦
南部上地区^{なんぶかみちく}」の開設などを行うことにより、効率的な道路網が構築される。

それによって、地域産業の競争力強化に資する木材搬出ネットワークを構築することで、林業・林材産業の生産活動を向上させ、林業の振興を図っていく。

併せて、農産物の流通対策を強化し集出荷場及び道の駅への搬出能力を向上することにより、6次産業化による農産物の付加価値を高め地域農業の「競争力強化」を図る。

また、住民の利便性の向上や災害時の孤立への不安の払拭も図ることにより、定住に向けた機運が高まることが期待される。

さらに、町道、林道、広域農道の総合的な整備により、重複を排除した効率的な路線配置が可能となるとともに、同時期に事業効果が発現するなど、更に住民の利便性が向上し、その結果、本地域の定住人口の増加といった道の整備事業の政策効果を高めることが期待できる。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

(1) 地方創生道整備推進交付金【A3008】

対象となる以下のとおりで、事業開始に係る手続き等を完了している。

なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

- ・町道 道路法に規定する町道に認定済み。()内は認定年月日
傍生実線(昭和52年3月24日)
大平中央線(昭和52年3月24日)
上樫原線 (昭和52年6月30日)
市宇線 (昭和52年3月24日)
神明葛又線(昭和52年3月24日)
雄中面線 (昭和52年3月24日)
- ・林道 森林法による吉野川地域森林計画(平成23年12月樹立)
に路線を記載。

大川原旭丸線
生実八重地線
神明杉地線
八重地市宇線
市宇樫原線

- ・広域農道 土地改良法に基づく事業計画が確定済み。()内は確定年月日
徳島東部地区 (昭和60年4月23日)

・広域農道「勝浦南部上地区」は、平成9年10月16日に事業計画について土地改良法手続きを完了しており、令和3年3月に流通・通作条件整備計画について策定予定である。

[施設の種類]

[事業主体]

・町 道

上勝町

- ・ 林 道 徳島県、上勝町
- ・ 広域農道 徳島県

[事業区間]

- ・ 勝浦町、上勝町

[事業期間]

- ・ 町 道 令和３年度～令和７年度
- ・ 林 道 令和３年度～令和７年度
- ・ 広域農道 令和３年度～令和７年度

[整備量及び事業量]

- ・ 町 道 ９ １ ５ m、林道 ２， ３ ０ ０ m、農道 ６ ３ ０ m（広域農道・基幹農道）
- ・ 総事業量 ２， ３ １ ３ 百万円
- 町 道 ２ ７ ２ 百万円
- 林 道 ８ ４ ０ 百万円
- 広域農道 １， ２ ０ ０ 百万円

[事業の実施状況に関する客観的な指標及び評価の方法]

(令和／年度)		基準年 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7
指標 1	国産材の流通促進						
	森林整備の促進 年間素材(木材)生産量の増加	13,000 m ³	13,200 m ³	13,400 m ³	13,600 m ³	13,800 m ³	14,000 m ³
指標 2	林業従事者の育成						
	林業就業者数の増加	24 人	25 人	26 人	27 人	28 人	29 人
指標 3	農産物の流通促進						
	農産物出荷量(柑橘類)の増加	140t	142t	144t	146t	148t	150t

毎年度終了後に上勝町、勝浦町の職員が必要な実績調査を行い、速やかに状況を把握する。

[事業が先導的なものであると認められる理由]

(政策間連携)

町道及び林道、広域農道を一体的に整備することにより、個別に整備するのに比べて、効率的かつ効果的な施設配置が可能となり、農林業の振興といった地域再生の目標達成により資するとともに、全体の整備コストの削減が期待できる点で、先導的な事業となっている。

上勝町国土強靱化地域計画の「緊急輸送道路等の強化」の道路網強化として、主要道路寸断による孤立集落解消に利用するための広域農道、林道の開設・設備。そのために、「県道、町道、農道、林道との連携や機能分担、町内地域間の連携強化等に配慮し、将来の財政負担も踏まえ、総合的な道路整備方針により、町道、農道、林道の整備を計画的・効率的に進める」に基づき実施するのである。

なお、町道傍示生実線及び大平中央線は、上勝町国土強靱化地域計画に基づき実施するものである。それ以外の路線名(町道、林道)については、今後、随時追加予定である。

広域農道徳島東部地区及び勝浦南部上地区は、徳島県国土強靱化地域計画に基づき実施するものである。

(その他の理由)

本事業は、農林業の振興に加えて、都市部のと地域間連携の観点で整備を行うことから、先導性が高い事業となっている。

5-3 その他の事業

地域再生法による特別の措置を活用するほか、「本地域の共存と交流による活力あるふるさとづくり計画」を達成するため、以下の事業を総合的かつ一体的に行うものとする。

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当無し

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) バイオマススクール支援事業

内 容 地域の中学生を対象とした校外授業の一環で、森林組合の指導による木の伐採や薪割り体験を行うバイオマススクールを実施。生徒が体験を通して、地域の森林整備や、資源循環の大切さを楽しみながら学ぶ場となっている。また、中学校の各教室に薪ストーブを設置し、自ら切り出した木材を薪として活用している。

事業主体 上勝町、徳島中央森林組合

実施期間 令和3年4月～令和8年3月

(2) チップボイラー活用支援事業

内 容 地域の間伐材をチップ加工し、温泉施設のボイラー燃料として活用する。燃料費の軽減や、森林資源の循環利用につながる。

事業主体 上勝町、㈱もくさん、月ヶ谷温泉

実施期間 令和3年4月～令和8年3月

(3) いろどりインターンシップ支援事業

内 容 行政と民間が連携するインターンシップ事業で、Iターン者も視野に入れた農家（いろどり）の後継者育成及び、人材育成に取り組む。

事業主体 上勝町、㈱いろどり

実施期間 令和3年4月～令和8年3月

(4) スマート林業プロジェクト

内 容 これまで4次にわたる林業プロジェクトの成果を基に、従来の取組を拡充・強化に加え、新たな森林管理システムによる施策やIoT、AI等の最先端技術の活用といった施策等を盛り込み展開することにより、川上から川中、川下まで一体的に森林・林業を核とした「地方創生」の実現を目指す。

事業主体 徳島県、勝浦町、上勝町、徳島中央森林組合

実施期間 令和3年4月～令和8年3月

(5) 森林環境保全整備事業

内 容 造林、下刈り、間伐等の森林の保育事業を行い、地域活性化の原動力となる間伐材の有効利用を図るとともに、適切な森林の維持管理に努める。

事業主体 徳島中央森林組合

実施期間 令和3年4月～令和8年3月

(6) 柑橘類六次産業化支援施設「オレンジファクトリー」

内 容 オレンジファクトリーは、「かんきつテラス徳島」内に設置された食品加工施設で、勝浦町の基幹産業であるみかんを中心とした柑橘類を使い、それを加工し販売していく六次産業化を支援する。

実施主体 勝浦町

実施期間 令和3年4月～令和8年3月

(7) 勝浦町地域活性化センター「レヴィタかつうら」

内 容 レヴィタかつうらは、勝浦町地域活性化協会や四国大学連携事業の拠点として、観光、交流、移住、まちづくりの研修などに関する事業を行い、地域の活性化を図る。

事業主体 勝浦町、勝浦町地域活性化協会

実施期間 令和3年4月～令和8年3月

6 計画期間

令和3年度～令和7年度

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

4に示す地域再生計画の目標については、計画期間の中間年度及び計画年度終了後に徳島県、勝浦町、上勝町が必要な調査を行い、速やかに状況を把握する。

定量的な目標に関わる基礎データは、徳島県、勝浦町、上勝町による森林整備等実績データ、勝浦町・上勝町の林業事業体の実績データを用い、中間評価、事後評価の際には、これらのデータ集計を行うこと等により評価を行う。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

	令和2年度 (基準年度)	令和5年度 (中間年度)	令和7年度 (最終目標)
目標1 林道整備による年間素材(木材)生産量の増加	13,000m ³ /年度 (令和元年度実績)	13,600m ³ /年度	14,000m ³ /年度
目標2 林道整備による林業就業者数の増加	24人 (令和元年度実績)	27人	29人
目標3 農産物(柑橘類)出荷量の増加	140t (直近3年間の実績 平均値)	146t	150t

(指標とする数値の収集方法)

項 目	収集方法
林道整備による年間素材(木材)生産量の増加	徳島県の森林整備事業実績による
林道整備による林業就業者数の増加	勝浦町と上勝町の林道事業体等への調査による
農産物出荷量(柑橘類)の増加	農業協同組合の農産物出荷量実績による

・目標の達成状況以外の評価を行う内容

1. 事業の進捗状況
2. 総合的な評価や今後の方針

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

4に示す地域再生計画の目標については、中間評価及び事後評価の内容を、速やかにインターネット（徳島県、勝浦町、上勝町のホームページ）の利用により公表する。